



展示室開室スケジュール

●令和7年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧いただけます。

3F	2月	3月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第5期 ~2月16日(月) 2月27日(金)~	令和8年度 第1期 ~5月11日(月)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	第4期 ~2月2日(月) 2月13日(金)~	第5期 ~4月13日(月)
特別展示室 企画展	春を寿ぐ—めでたきかざり・祈りのかたち— ~3月8日(日)	さんごをまとう—あこがれの帯留・かんざし— 3月20日(金・祝)~5月24日(日)

城博講座

2月 14日 (土)	歴史講座 「土佐の社会と災害」 第4回 江戸時代の飢饉 講師:水松啓太(当館歴史担当学芸員)
2月 21日 (土)	美術工芸講座 「見る技術～はじめての日本美術②～」 第4回 雛人形 じっくり見てみよう 講師:丸塚花奈子(当館美術工芸担当学芸員)
会場/当館1階ホール 時間/10:00~11:30 定員/80名 参加費/無料 申込み/不要(当日先着順)	
2月 28日 (土)	日本の文化講座 「人生儀礼(通過儀礼)」 第3回 藩主の生涯と儀礼 講師:横山和弘(当館歴史担当学芸員)
歴史資料保存講習会 in 四万十市 「身近に伝わる歴史資料の保存と取り扱い方」 2月22日(日) 14時~15時30分 会場:四万十市立武道館 会議室 定員:先着30名(当館まで要事前申込) 講師:田井東浩平(当館保存担当学芸員)	

山内家資料修理説明会
文化財修理の現場
-絹本絵画と書跡の修理-

開催日:令和8年2月7日(土)
時間:14時~15時30分
講師:水石靖子氏(株修美)
会場:当館1階ホール
定員:40名(要事前申込/先着)

申込方法
電話・FAXのいずれかで氏名・電話番号をお知らせください。

外国人のための日本文化体験講座
—日本の城“高知城”—
Japanese Cultural Experience —Japanese Castle “Kochi Castle”—

日 時:令和8年3月22日(日)
14時~16時
集合場所:当館 1階 実習室
高知城案内:横山和弘(当館歴史担当学芸員)
定 員:先着15名
参加費:500円(高知城の入城料)
申込方法:要事前申込
メールで住所・名前・電話番号をお知らせください。
申込メールアドレス:jce.kjrh@gmail.com

地域文化講座 第4回 地域における実践紹介
開催日:令和8年2月28日(土)
時 間:13時30分~15時30分
講 師:①吉川定雄氏(立川地区活性化推進委員会 会長)
②鳥山百合子氏 石川拓也氏(合同会社 風)
会 場:当館1階ホール
定 員:50名(要事前申込/先着)

地域散策会 「物部川流域にみる戦争の記憶
~南国市・香南市・香美市を巡る~
開催日:令和8年3月22日(日)
時 間:9時~17時(予定)
案 内:当館職員
場 所:南国市・香南市・香美市
定 員:20名(要事前申込、申込多数の場合は抽選)
申 込:3月3日締切 ※詳細は当館ホームページまたはチラシをご確認ください。

申込方法 電話・FAXのいずれかで、氏名・電話番号をお知らせください。
地域散策会は住所・生年月日も合わせてお知らせください。
※地域散策会は申込多数の場合は抽選。参加者には後日整理券を発送

お得な年間観覧券がオススメです

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヶ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

年間観覧券/2,000円
※有効期限は購入日から1年間

各種会員制度もご利用ください

友の会 年間観覧券と様々な特典がついた会員制度です。

年間 3,500円

情報会員 城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送りします。

年間 500円

友の会、情報会員の詳細はこちら



開館時間 9:00~18:00 (日曜は8:00~18:00) ※展示室への入室は閉館30分前まで

休館日 年末年始 (12月27日~1月1日) ※展示室の開室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料 ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金

◆企画展開催期間中…800円(640円)

◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです
(当館企画展開催期間中)1,040円 (その他の期間) 800円

◆高校生以下は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

◆お車 高知自動車道高知ICから約15分、一般来館者用の駐車場はございません。

高知公園(高知城)駐車場など周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり

◆JR JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)

はりまや橋下車にて乗り換え、高知城前下車、徒歩2分

◆飛行機 高知龍馬空港から空港連絡バスにてはりまや橋下車、徒歩約20分

高知県立 高知城歴史博物館

TEL.088-871-1600 FAX.088-871-1619



発行日/令和7年(2026)2月2日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館 印刷/共和印刷株式会社

ジョー ハク 城博ニュース

- 企画展 「さんごをまとう—あこがれの帯留・かんざし—」
- イベント 開館9周年「城博の日」

- 総合展示室 ピックアップ
- 城博コレクションの名品・逸品「見立挑灯蔵大序」
- 活動レポート お月見の会・お正月の会
地域学芸員養成講座
- 展示室開室スケジュール
- 講座・催し 開催情報

企画展
さんごをまとう
あこがれの
帯留・かんざし



3月7日(土)	3月8日(日)
10時 10:00~ 展示の楽しみ方ミニ解説 10:30~ 宮尾悠ミュージアムコンサート 10:30~ 博物館の裏がわ探検(小学生向け)★	10:00~ 展示の楽しみ方ミニ解説 10:30~ 沖名の花探太刀踊ステージ
11時 11:00~ 記念講座「土佐藩と馬3題」★ 11:00~ ハックヤードツアー・修理体験★	11:30~ 展示の楽しみ方ミニ解説
12時	
13時 13:00~ 宮尾悠ミュージアムコンサート 13:30~ 展示の楽しみ方ミニ解説	13:00~ 博物館の裏がわ探検(小学生向け)★ 13:30~ 展示の楽しみ方ミニ解説
14時 14:00~ ハックヤードツアー・修理体験★ 14:00~ 山内家墓所特別公開★	14:00~ 山内家墓所特別公開★
10時~15時 15時 15時 15時 15時 わくわく! 体験コーナー	歴史資料の保存・取扱い体験コーナー わくわく! 体験コーナー



ジョー・ハクLINE公式アカウント



最新情報やオススメ情報などを届け中!

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主の御道具など6万7千点の土佐藩主山内家資料を核とした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から学芸員がオススメの名品や隠れた逸品をご紹介。

見立挑灯蔵大序



歌川国芳画・梅屋鶴子賛
弘化4年(1847)
縦35.3cm×横23.5cm

折り紙の兜を持つ女性にじやれつゝ子供。一見ふるものごとをそのまま描かずに何かに置き換えて表し、見る人に謎解きを迫る「見立絵」です。たくさんの中から新田義貞の兜を選び出すよう命じられた顔世(塩治判官の妻)。義貞が使っていた香の記憶によつて、見事選び出しますが、そこに居合わせた高師直にしつこく言い寄られます。彼の執着はやがて多くの人々を巻き込み、討ち入り事件へと発展していくのです。

画面では義貞の兜は折り紙に、師直は子供へと置き換えられています。左の文字は狂歌で「かんざしにさししひさごのつるが岡名香かをる少女子が髪」。ひざご(ひょうたん)の蔓と鶴岡八幡宮の鶴を掛詞とし、義貞の兜の香を女性の髪の香りへと重ねています。向かつて右側の小さなかんざしをご覧ください。赤いさんごを2つ並べたひょうたん形です。さんご玉一つを用いた玉かんざしが登場したのが文化年間(1804~18)、その発展型「ひざごかんざし」の流行は嘉永(1848~54)頃といわれています。この作品はまさに流行の最先端をとらえたものといえましよう。黒い髪、白い肌、真っ赤なさんご。事件の予感をはらんだ心憎い作品です。

資料学芸課 主任学芸員 尾本師子

人の手がみがきあげた 海の恵み



令和8年3月20日[金・祝]
—5月24日[日]
(会期中無休)

神秘の宝石「さんご」

3月の誕生石の1つ「さんご」。宝石として扱われていますが実は石(鉱石)ではありません。海に住む刺胞動物へクラゲやイソギンチャクのなかまへの骨格を磨いたものです。「それもそうか、さんご礁で採れるんだし…」と納得してはいけません。宝石になる種類のさんごは、光あふれるさんご礁ではなく、水深数百~千メートルの暗い海の底で何十年もかけて枝のような姿に育ちます。さんご漁師は長い長い縄の先におもりを付けた網を海底に流し、枝をからめて引き上げるのです。



「胡渡り」から国産へ

海の生命力を閉じ込めたような赤い宝石・さんごには古くから魅せられてきました。利用の歴史は旧石器時代にまでさかのぼりますが、明治初年に至るまでその産地は地中海に限られていたのです。江戸時代の日本人は、はるばる海を渡ってやってきたさんごを「胡渡り」と呼び珍重しました。日本近海でも網にかかったり釣り上げられたりすることはあったのですが、ぜいたく品を禁止する政策もあり、積極的な漁は行われてきませんでした。

しかし明治初年、高知の沖でさんご漁が始まります。ちょうどその頃、漁と加工の本場イタリアでは禁漁令が出され、市場が混乱していました。高知へやってきたイタリア商人は、赤、ピンク、白、斑入りとバラエティ豊かなうえに大振りで硬質なさんごに大喜び。以来、さんごの原木

が盛んに輸出されるようになりました。やがて原木のままではなく、国内で加工して付加価値を高めようとする動きも生まれ、大正時代には日本人好みに合わせ、彫刻を施したかんざしが登場、昭和初期には彫刻帯留が大流行しました。

職人が磨き上げ、女性がいつくしんだ装身具

この展覧会では、さんごのかんざし・帯留をたっぷりご覧いただきます。花、動物、水辺の風景…極小の彫刻にこめられたちいさな宇宙。これらを手にした当時の女性たちのときめきを感じていただければ幸いです。



画像上より：葉玉象嵌櫛、鯉彫刻帯留、波乗り兎彫刻帯留、石榴桜桃彫刻帯留、菊彫刻かんざし、鈴蘭彫刻帯留

企画展

さんごをまと

帶留
・
かんざし



総合展示室 展示情報

令和8年度
第1期 2月27日(金)~5月11日(月)

高知城下郭中図

1
土佐藩の歴史
上級武士が居住した高知城下郭中を描いた絵図です。元禄11年(1698)の大火以前の町並みを描いたものと考えられ、火除地などの火災対策が実施される前の郭中の様子がよく分かります。このほか、豊富な実物資料から土佐藩の歴史をご紹介します。



総合展示室 第5期 2月13日(金)~4月13日(月)

婚礼道具

2
大名道具と
土佐の文化
武家にとって婚礼は家格を保ち権威を示すための重要な儀式でした。婚礼の際に女性が嫁ぎ先へ持参した婚礼道具には、その格式にふさわしいデザインや豪華絢爛な蒔絵装飾が施されています。気品あふれる大名調度の世界をお楽しみください。



活動レポート

お月見の会・お正月の会

季節の催し



「地域学芸員」養成講座

文化施設連携



地域資料の調査風景(香南市)

当館では令和元年より毎年、市町村文化施設の諸活動に協力し活躍できる地域の人材を育成する目的で、本講座を行っています。本年度は高知市(城博会場)と香南市(地域会場)で開催しました。例年、月1回・全10回の課程で開催していますが、新たな試みとして、地域会場では、香南市主催の文化財講座及び香我美市民館趣味教養教室との共同開催で、8月から12月までの5ヶ月間・月2回の短期開催の形をとりました。

講座が始まる前は「博物館で活かせられる知識や技術を身につけられるか」「じっくりと課題に取り組む時間をとることができるか」「古文書を全く読んだことがないが大丈夫か」などの不安の声がありました。しかし、いざ始まってみると、受講者の皆さんは終始、意欲的な姿勢で取り組んでいました。特に「資料取扱」や「資料撮影」では、お互いに声を掛け合いながら、実技を進めることができました。

また、今年度は講座内容をより実践的に学ぶため、2日間にわたり、地元香南市に伝わる未整理の地域資料を教材として、資料調査を行いました。受講者の皆さんは、資料をクリーニングし、番号を付け、大きさを測り、写真撮影するという、一連の調査作業を行いました。こうして自分たちの手で資料を整理できたことが、確かな手ごたえとなっていました。

なお、近年では当講座の修了者を対象に、身につけた基礎的な知識と技術を地域での活動に活かすために、資料保存や資料撮影など、さらに専門的な技術を養成する「フォローアップ研修」も随時行っています。

総務企画課地域企画室 主任学芸員 片岡剛



教育普及課 主任学芸員 中屋真理

当館では、日本に古くからある年中行事を、食や伝統芸能、展示を通してお楽しみいただく「季節の行事」を年に数回開催しています。毎年定員を大きく上回るお申し込みをいただく、当館でも人気の高い催しの一つです。

11月9日(日)夜には、十三夜に合わせて「お月見の会」を開催しました。会では、1200年以上の歴史をもつ音楽、雅楽の演奏と舞の鑑賞の他、当館所蔵の『生菓子図案集』から秋にちなんだ菓銘の和菓子と抹茶、月や秋のモチーフがあしらわれた美術工芸品がならぶ展示室をお楽しみいただきました。

年が開け、1月11日(日)には、新春を寿ぐ「お正月の会」を開催しました。箏と尺八による演奏をお楽しみいただいた後、別会場にて、山内家伝来の正月料理と和菓子・抹茶をご堪能いただきました。また、干支や新年にふさわしい縁起のよい資料がならぶ企画展もお楽しみいただきました。

五感を通して歴史や伝統文化に触れ、季節感を味わっていただけます。会終了後、「参加者からは普段味わうことができない特別な時間を過ごすことができた」、「日本の伝統芸能、文化の魅力を再発見する機会になった」等の嬉しい感想が多く聞かれました。当館では、今後も引き続き、色々な形で日本の歴史や伝統文化を体験していただける催しを多彩に開催していきたいと思っています。